

第 1 1 回白山市教育委員会会議録

1 日 時 令和 5 年 1 2 月 1 日 (金) 午後 3 時

2 場 所 白山市役所本庁舎 4 階 4 0 2 会議室

3 出席者

教育長	清水 茂
教育長職務代理者	竹内 千恵子
教育委員	小寺 正彦
教育委員	尾張 勝也
教育委員	安川 薫
教育委員	佐賀 一夫

4 事務局

教育部長	山内 満弘
教育総務課長	米木 伸一
学校教育課長	藤 法生
学校指導課長	東海林 幸男
生涯学習課長	中村 繁樹
子ども総合相談室長	浅香 弥生
松任図書館長	三谷 哲史

書記職

教育総務課課長補佐	長島 史晃
教育総務課係長	山崎 有香

5 傍聴人 なし

6 案件

議案第 3 8 号	令和 5 年度白山市一般会計補正予算 (教育費) について
議案第 3 9 号	白山市地域コミュニティに関する条例について
議案第 4 0 号	白山市シーサイド松任条例を廃止する条例について
議案第 4 1 号	白山市青少年宿泊研修センターの指定管理者の指定について

7 議事の経過等 以下のとおり

清水教育長の開議あいさつに続いて、議事録署名委員として安川委員を指名した。

諸般の報告について、教育部長より教育長が出席した行事の主な概要について報告した。

■主な行事の概要（10月13日の教育委員会以降の報告）

- ・10月15日（日） いしかわ百万石文化祭2023開会式（いしかわ総合スポーツセンター）
- ・10月16日（月） 寄附感謝状贈呈式（特別応接室）
- ・10月20日（金） 令和5年市議会10月会議
- ・10月21日（土） 湊小学校創立150周年記念式典（湊小学校体育館）
- ・10月23日（月） 教頭会議（402会議室）
白山市野々市市小中学校管理職等研修会（市民交流センター）
- ・10月25日（水） 寄附贈呈式（特別応接室）
- ・10月27日（金） 石川縣市町教育委員会連合会研究大会（辰口福社会館）
- ・10月28日（土） 蝶屋小学校創立150周年記念式典（蝶屋小学校体育館）
第18回白山市図書館を使った調べ学習コンクール表彰式
（松任学習センタープララ）
- ・11月8日（水） 教育委員会協議会（402会議室）
- ・11月16日（木） 北辰中学校創立40周年記念式典（鶴来文化会館クレイン）
- ・11月17日（金） 東海北陸地区へき地・複式・小規模学校教育研究大会 分科会
（白嶺小中学校）
朝日小学校創立60周年記念式典（朝日小学校体育館）
- ・11月18日（土） 明光小学校創立60周年記念式典（明光小学校体育館）
- ・11月22日（水） 松任小学校創立150周年記念式典（松任文化会館ピーノ）
令和5年度「いしかわ道德教育推進事業」公開授業研究会
（湊小学校）
- ・11月25日（土） 第51回千代女少年少女全国俳句大会表彰式（千代女の里俳句館）
- ・11月26日（日） 白山ふるさと文学賞贈呈式（グランドホテル白山）
- ・11月27日（月） 校長会議（402会議室）

本日の議題に入り、議案第38号、議案第39号、議案第40号、議案第41号について、質疑・応答が行われ、原案どおり承認し閉会した。

【案件の説明および諸報告について】

案件について、事務局より説明・報告し、原案通り承認された。

【主な質疑・応答の内容について】

○令和5年度白山市一般会計補正予算（教育費）について

（竹内教育長職務代理者）

図書館の件で、助成金が決定したので、購入費を予算計上するというしくみを説明してください。

（三谷松任図書館長）

助成金の募集については全図書館に来ており、白山市からはかわち図書館のみ申請してお

ります。8月に決定し、その後11月に助成金10万円を振り込む旨連絡があり、その金額以上の購入指示がありましたので、今回の補正額に計上することになりました。かわち図書館の当初予算から査定されたのですが、子どもたちのために総合百科事典を購入する予定となっております。

(山内教育部長)

本来ですと、歳入も補正しなければならないのですが、歳入につきましては雑入という形で受け取っておりますので、歳入補正をせずに歳出だけ補正しております。

(尾張委員)

節電の話について、ここでもよく話題になりますし、学校でも話しているのですが、特に冷暖房は大変、電力を使います。夏は窓を開けて涼しくなるのに、もう朝から冷房をつけるのは当たり前というのは、大変意識が低すぎると感じています。それと、僕はシャツインの問題でよく言うのですが、やはり服装でまず何かするのが基本だと思っています。1年中、Tシャツでいても気持ち良い空間を作れ、なんて前時代の話で、SDGsのこの時代はまず、服装から暖かい服を着るということが当たり前で、夏だったら涼しい格好、それでも足りない部分は、他のエネルギーに頼るという基本中の基本は、学校だけではなくて、世の中全部できていない。だから、暖かい格好をすれば授業中ポカポカで過ごせるし、ダウンでボコボコとかアノラックにまでなるとやりすぎかもしれないけれど、SDGsで是正基準の何番に何が入るとかそんなことばかりではなくて、この生活に関わることで環境を考えるとということが一番大事なことです。単に節電と言ったらこまめに電気を消しましょうとか、そんなことばかりになってしまいます。もっと根本的な部分でどうやったら電気を使わなくていいのか、そのために我々がエネルギーを使わず、資源を使わず、工夫できることは何なのかということを考えるのが学校教育でとても大事なことだと思います。ぜひ、「あまり使わないで」とか「節電の意識を」と言うのではなくて、SDGsと絡めて、子どもたちと絡めて、どうやったら温かく過ごせるかというような話をして、意識を盛り上げて欲しいと思いました。意見です。

(東海林学校指導課長)

以前は、中学校でも規律が厳しかったので、授業中は制服のみ、カッターシャツのみ、その統一した姿でと言っていたのですが、最近は暑い方は脱ぐのは限度があるので、エアコン等の調節なのですけれど、冬用に関して言えば、上にジャンパーを着る、下にオーバーズボン履くということは認めて、授業もさせています。集会は昔、寒い中、制服のまま立っている、座っているというものだったので、最近は寒かったら自分で調整しなさいということで、ジャンパー、オーバーズボンの着用も認めてくるように、徐々になっています。

○白山市地域コミュニティに関する条例について

(佐賀委員)

もう4月からの話ですが、各地区の今で言う公民館の受け入れ体制というか、準備は整っている状態なのですか。

(中村生涯学習課長)

協働推進課で進めているところですが、全公民館について年度内には準備会が組織されるように聞いております。4月1日に一斉にスタートすることは間違いございません。

(尾張委員)

ほぼ全部の公民館の主事・事務員がそのままコミュニティセンターの職員に移行するのでしょうか。

(中村生涯学習課長)

委員のおっしゃる通り、そのまま継続していきます。今の案としましては、主任、事務員という形で、主事が主任になります。公民館長が、この条例のとおり、コミュニティセンターとなりますので、コミュニティセンター長という名称に変わります。

(尾張委員)

教育委員会側からしたら社会教育的な部分は、やはり重視して欲しい。でも、直接こちらの管理下ではなくなるため、実際に主事、館長の人達の意識というのは、どうなのでしょう。もちろんいろいろな意識があると思いますが、名前が変わるけれど、今まで通りきちんとやろうという意識が多いのか、いや名前が変わったから、今までのような社会教育的なことはきっとあまりできないだろうという意識が多いのか、見た感じ、感触でどうか分かったら教えてください。

(中村生涯学習課長)

今日も公民館長会に出席しておりました。協働推進課も同席しておりますので、移行のいろいろな質問があり、中身を聞いていますと、地域づくりというところが、今の社会教育プラス市民活動のところが出てくるわけなのですから、教育長もよく言われているのですが、地域づくりと社会教育はリンクというか、等しいところもありますので、より地域と密着になっていくことになると思います。公民館の主事さんに対しては、来年からも社会教育の講習・研修は、生涯学習課が責任を持って開催します。それに伴って、地域づくりの面で今の公民館の職員が事務局としてサポート、コーディネートしていくという役割があるということなので、今よりも、地域づくりの事務局として参画していくという点では、皆さんの意識では、戸惑いも最初ありましたけれども、意識改革がなされているように感じております。

(教育長)

住民主体の地域づくりというのは、このコミュニティセンター化する一番の目的でもあるのですけれども、そんな中で地域づくり、と生涯学習課長が申し上げましたが、そこで住民主体の意識を持っていく上で、社会教育というのは学びの提供で、とても大事な部分になります。公民館に集って、話をしながら自分たちの地域はこういう課題があるから良くしていこうという時に、社会教育というのは大きな役割を果たす部分があります。社会教育は教育委員会の生涯学習課に残りますので、いかにコミュニティセンターの職員さんに意識を絶えず持ってもらえるかというのは、研修面の部分では教育委員会がパイプを握って、やっていければいいなと思っています。

(尾張委員)

その地域づくりという言葉は、とても大事だと思うけれど、では具体的に何をしたら地域づくりになるのかというと、やはりイベントをするということがメインになるのではないかという感じがします。いろいろみんなが集まって一緒に活動することで、地域ができていくということが一番強いかな、と感じています。だから単なるただの仲良し作りではなくて、そこには何かしら柱というかビジョンがあって、そのビジョンは、こういう地域にしたい、子どもたちにもこういう大人になって欲しいという教育的なものだと思います。教育的というのは別に厳しいとか難しいという意味ではなくて、みんなもこういう生活をしたいたいときに、単に楽とか楽しいだけでなく、そういうエッセンスが根底にないと多分あまり面白くない。面白くないという言い方はおかしいけれど、本当に難しいとは思っただけけれど、人と人がどんどん疎遠になって、ネットでしか繋がらなくなっている世の中だから、なおさらFACE TO FACEで、同じ空気の中で同じようにやっていく、という地域コミュニティというのは教育委員会としてだけではなく、市としても大事にして欲しいし、自分達も大事にしていきたいと考えている、という意見です。

(竹内教育長職務代理者)

公民館において温度差があって、新聞に活動がよく出ている公民館と、何も無い公民館がありますね。公民館大会に行ったらそれぞれの発表がありますが、横の繋がりというかネットワークはあるのでしょうか。学校訪問をしていて、学校司書の方達が非常に強力なネットワークで情報交換をしているので、切磋琢磨してみんな競争するようになっていくということを感じています。公民館も横の繋がりはあるのでしょうか。それとも、昔からのその地域のものをやっていらっしゃるのでしょうか。それぞれの地域の特色を生かしながら、でも市としてきちんとまとまりがあって、あまり温度差がないのが良いと思いました。

(中村生涯学習課長)

公民館では、例えば、松任地域の公民館の主事会等を定期的にかけて情報交換をしております。

ます。それぞれの地域ごとに主事会、事務員部会をやっております。研修についても、石川県が主催する新任公民館長研修も出席しておりますし、館長会も二月で1回程度開催して情報交換を行っております。石川県公民館大会、東海北陸大会にも一緒に市のバスを利用して参加しております。補足ですけれども、公民館からコミュニティ組織になる上で、協働推進課が2月にコミュニティ組織の発表の場も設けております。公民館大会では、公民館の事業を発表しておりますけれども、各コミュニティ組織での事例を発表するもので、公民館の職員もコミュニティ組織の人も出席するという交流会です。「生涯学習のつどい・公民館大会」を今年度も開催しましたけれども、「生涯学習のつどい」は来年度も開く予定で予算を要求しております。その中で、公民館大会ではなく、コミュニティ組織の交流会も一緒に併せて開けるように協働推進課と連携していくということも計画しております。